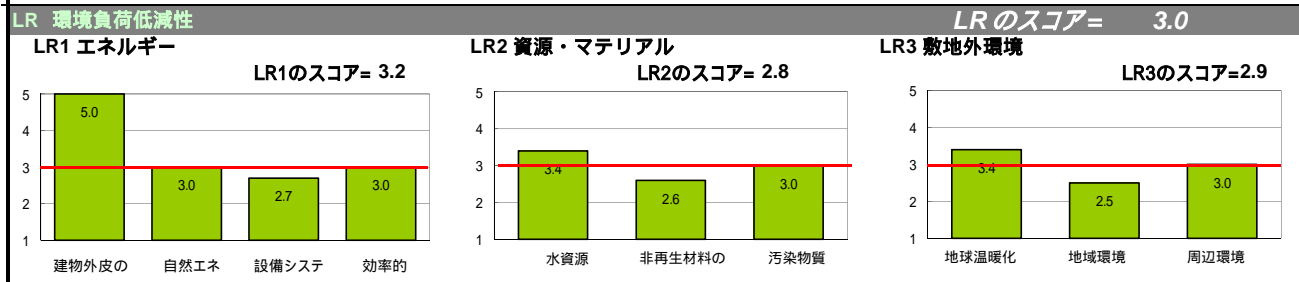
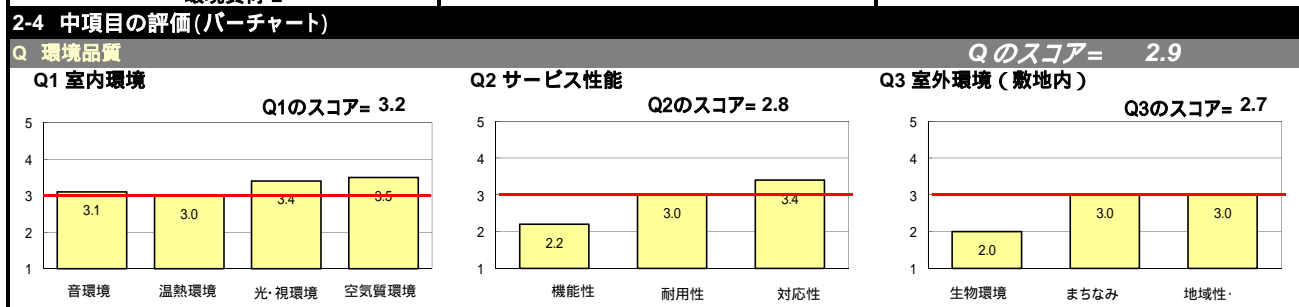
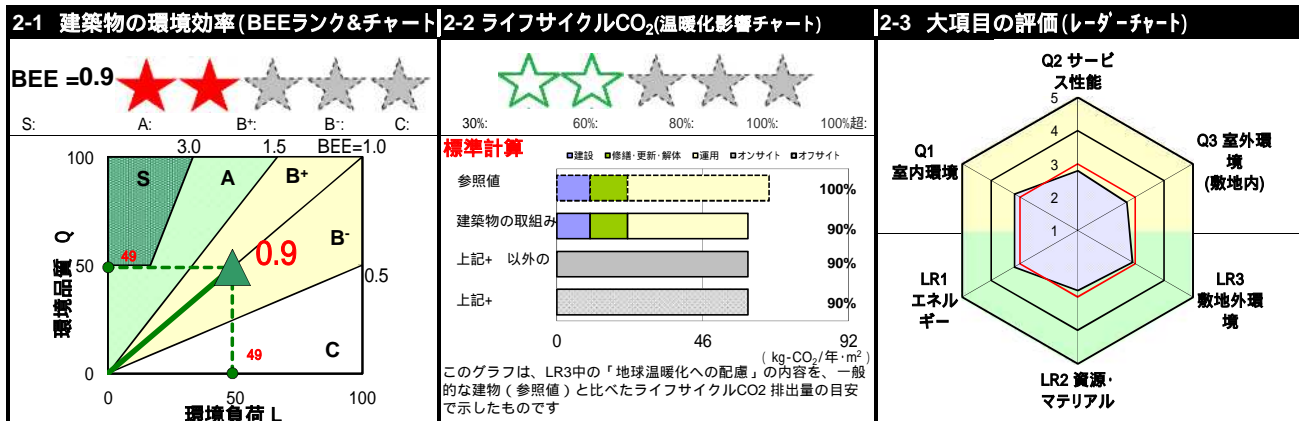


CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉圏2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	城西大学坂戸キャンパス(仮称) 22	階数	地上7F
建設地	埼玉県坂戸市けやき台992-1他	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火	平均居住人員	2,850 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2017年11月15日
敷地面積	127,538 m ²	作成者	株式会社久米設計
建築面積	1,408 m ²	確認日	2017年11月15日
延床面積	8,380 m ²	確認者	株式会社久米設計



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 18号館と階高、建物高さ、立面イメージを調和するとともに、負荷の高い東西の開口部の大きさを抑えている。 低層階を講義エリア、高層階を業学エリアと明快に分離 南側に講義・研究ゾーン、北側に廊下ゾーンと明快な平面構成 		<p>その他</p> <p>なし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装材は規制対象外かF としている。 建物内禁煙 CO₂の遠隔監視が可能 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 防汚性の仕上材 保有水平体力1.25以上 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部に植栽設置
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> BEI=0.85 BPI_m=0.49 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 節水型器具・擬音装置の採用 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導に沿った雨水流出抑制を適切に行っている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
 城西大学坂戸キャンパス(仮称)22号館 新築工事(期・期)

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.40	-	-		3.2
1 音環境				3.1	0.15	-	-		3.1
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.3	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		教室 Dr-40以上		3.0	0.30	3.0	-		
2 界壁遮音性能				4.0	0.30	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.60	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.40	3.0	-		
3 ゾーン別制御性					-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.4	0.25	-	-		3.4
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-		
1 昼光率				3.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口					-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		南面開口部にブラインド+庇を設置		4.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		500Lx以上にて計画する。		4.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				3.5	0.25	-	-		3.5
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.3	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		外気取り入れは屋上より取り入れる計画としている。		4.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		CO ₂ の遠隔監視が可能となっている。		5.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている。		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.8
1 機能性				2.2	0.40	-	-		2.2
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応					-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				1.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				2.5	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				2.0	0.50	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-		
3 内装計画				3.0	0.50	-	-		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の仕上材を使用		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		災害時は汚水槽に一時貯留が可能		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備のためのスペースを確保	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.49	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.85	2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型器具・擬音装置の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		排出率90%	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		2.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	城西大学坂戸キャンパス(仮称)22号館 新築工事(期・ 期)	BEE	0.9	BEEランク
------	---------------------------------	-----	------------	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.4	+	2.3	=	5.7
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
				

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均 3.4
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >		
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア 3.4
・自然採光、自然通風を基本とし、熱線反射ガラス・屋根断熱による熱負荷低減に努める。		
(2) 緑の保全・創出		スコア平均 2.3
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >		
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア 2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 2.0
・屋外機の高所への設置。		

: 入力欄